

沖縄
米軍
新基地

野党が共同で 防衛大臣に抗議



野党5党・2会派の国対委員長は10月31日、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設に関する県の埋め立て承認撤回に対して、沖縄防衛局が執行停止・不服審査請求を申し立て、石井啓一国土交通相が執行停止したことについて、岩屋毅防衛相に抗議し、決定を即刻取り消すよう申し入れました(左写真)。

日本共産党・穀田恵二、立憲民主党・辻元清美、国民民主党・原口一博、無所属の会・広田一、自由党・日吉雄太、社民党・

照屋寛徳、沖縄の風・糸数慶子の各国対委員長の名義で申し入れました。

選挙で示された民意踏みにじる暴挙

共産党・志位委員長が追及

沖縄新基地問題で日本共産党の志位和夫委員長は10月30日、衆議院代表質問(右写真)で、以下のように政府を追及しました。その部分を紹介します。

志位氏は、沖縄県知事選での玉城デニー氏の圧勝、豊見城市長選、那覇市長選での「オール沖縄」勢力の勝利が示した「沖縄にこれ以上、新しい基地はいらない」という明確な沖縄県民の民意をどう認識するのかと迫るとともに、沖縄県の埋め立て承認撤回に対する同日の石井国土交通大臣の無法な執行停止決定に満身の怒りを込めて抗議しました。

志位氏は、安倍首相が所信表明で「沖縄のみなさんの心に寄り添う」と述べ、県知事選で圧勝した玉城デニー知事から「話し合いの場を設けてほしい」と要望を受けていたことを指摘。それにも関わらず決定した政府

の態度は「対話による解決すら拒否するというのは、民主主義の国では許されない態度だ」と批判しました。

安倍首相は、志位氏の指摘に対し「いずれも当たらない」と、根拠を述べずに開き直りました。

志位氏は、国交相の執行停止決定の撤回▽沖縄県との真剣な話し合いの場を設けること▽米国に普天間基地(宜野湾市)の無条件撤去を求める対米交渉一を強く求めました。



沖縄と連帯して市民+野党で安倍政権に審判を!!

沖縄県民の意思を無視する安倍政権の態度は許せません。日本政府がすべきことは県民の意思にそって、アメリカと基地返還の交渉をすることです。市民と野党の共同で安倍政権を倒しましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子 日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可